



静かにゆつくりと

沢江

大谷 八重 (84歳)



私にとっては、明治、大正、昭和を経過して平成8年を迎え、千支でいえば7回目の子年に巡り合うこととなりますが、「冥土の旅の一里塚、めでたくもあり、めでたくもなし」の心境で、年が改まる元旦を迎えています。振り返ってみれば、嫁いで63年、家業の呉服店を守り、一昨年まで続けてきましたが、眼を悪くし呉服をやめ、今では家の庭の掃除や近くの親戚が来てくれるのを楽しみに、一人で家を守っています。今年もマイペースで、健康に気をつけ、静かにゆつくりと人生を歩いてゆき、次の「米寿」を目指し、是非とも21世紀の大台を超えてみたいと思っています。

健康で元気に

上ゲ

豊島 喜江 (60歳)



この三隅町へ縁ありまして、私がこの地で暮すようになって、早いもので22年になります。小さかった子供も人の親となり、孫が生まれ、忙しい毎日を送っ

私の旅行体験

豊原

玉江 繁一 (72歳)



戦後51年、子年の私はお陰様で72才を迎えます。私は最近、韓国、中国、ギリシャ・トルコ、エジプト等海外へ4度旅行をしました。各国の古都を巡り、史跡・文物と対面して、古代文化の源流を探り、その見るもの聞くもの、異国な

真剣にやる

野波瀬

白井 敏朗 (48歳)



今年の子の年、十二支の一番初めの大変幸運の年と独りよがりの気持で、年男の幸せを感じています。縁あって本町に在籍して24年、あらゆる荒波を乗り越え、どうやら一人前の人間として知る人ぞ知る立場に昇りつつある(これは自負の域を越えないかと……) 私は過去を振り返り、

三つのテーマ

下中小野

杉山 篤枝 (36歳)



私にはテーマが三つあります。これまでに一番感動したことは子どもを出産した時でした。子どもをもった喜びと親が私を産んで育ててくれたことへの感謝の気持ちがこんこんと込み上げてきたのです。今では三人の子どもの母親になりました。私の一番大切な子どもたちを多くの人たちの助けを借りながら、素直な子に育てていきたいです。二つ目は「健康」です。気だけは若くつもりでも体は正直です。自分の体は自分で守ることを怠らないようにしたいと思っています。体の健康もさることながら心の健康という面で明るく生きたいというのが三つ目です。「人生は考え方で変わる」といわれます。なるべく前を見つめながら社会勉強させていただきたいと思っています。

この三つのテーマを気にしながら楽しく過ごすことで回りの人を幸せにできたらと思います。